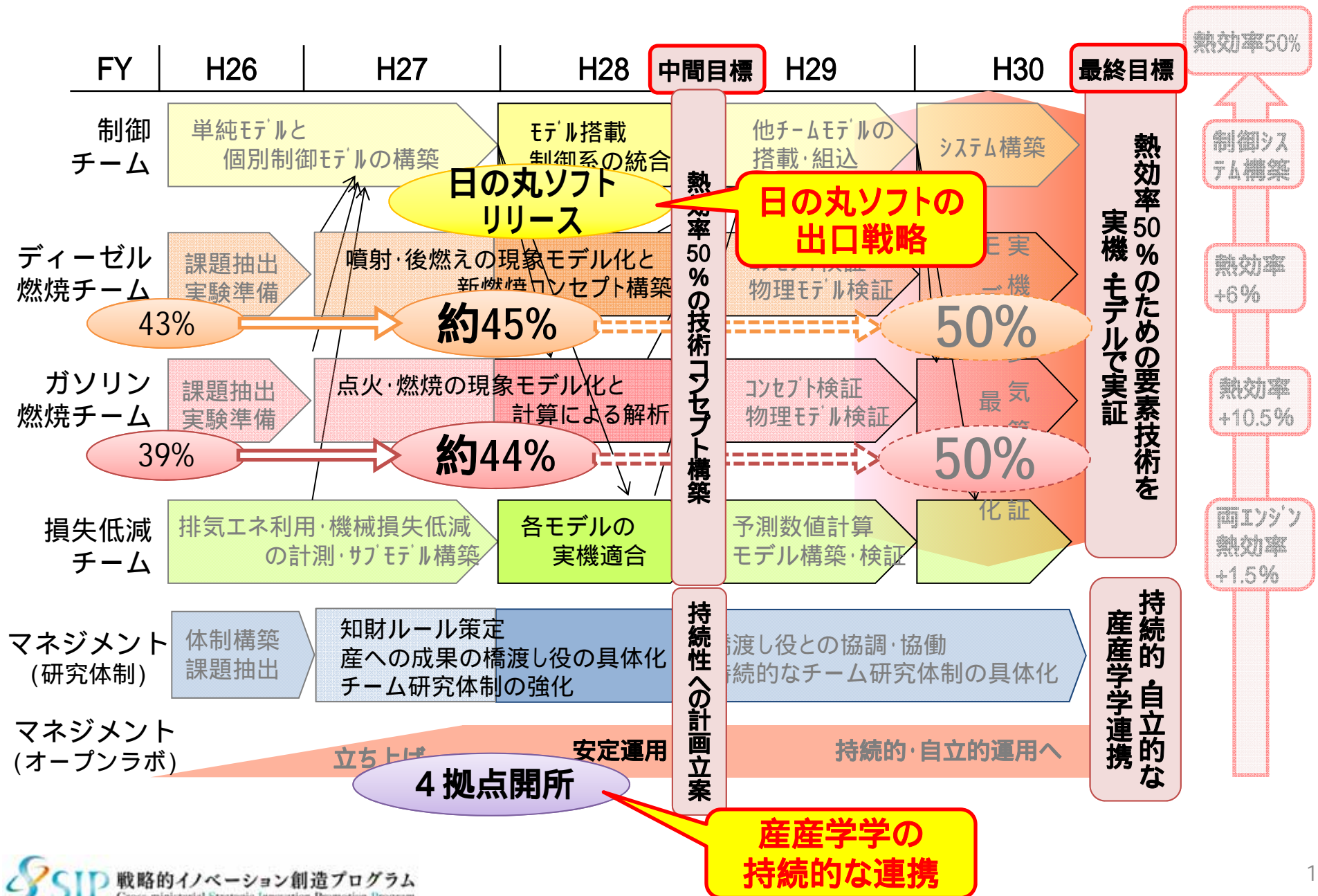


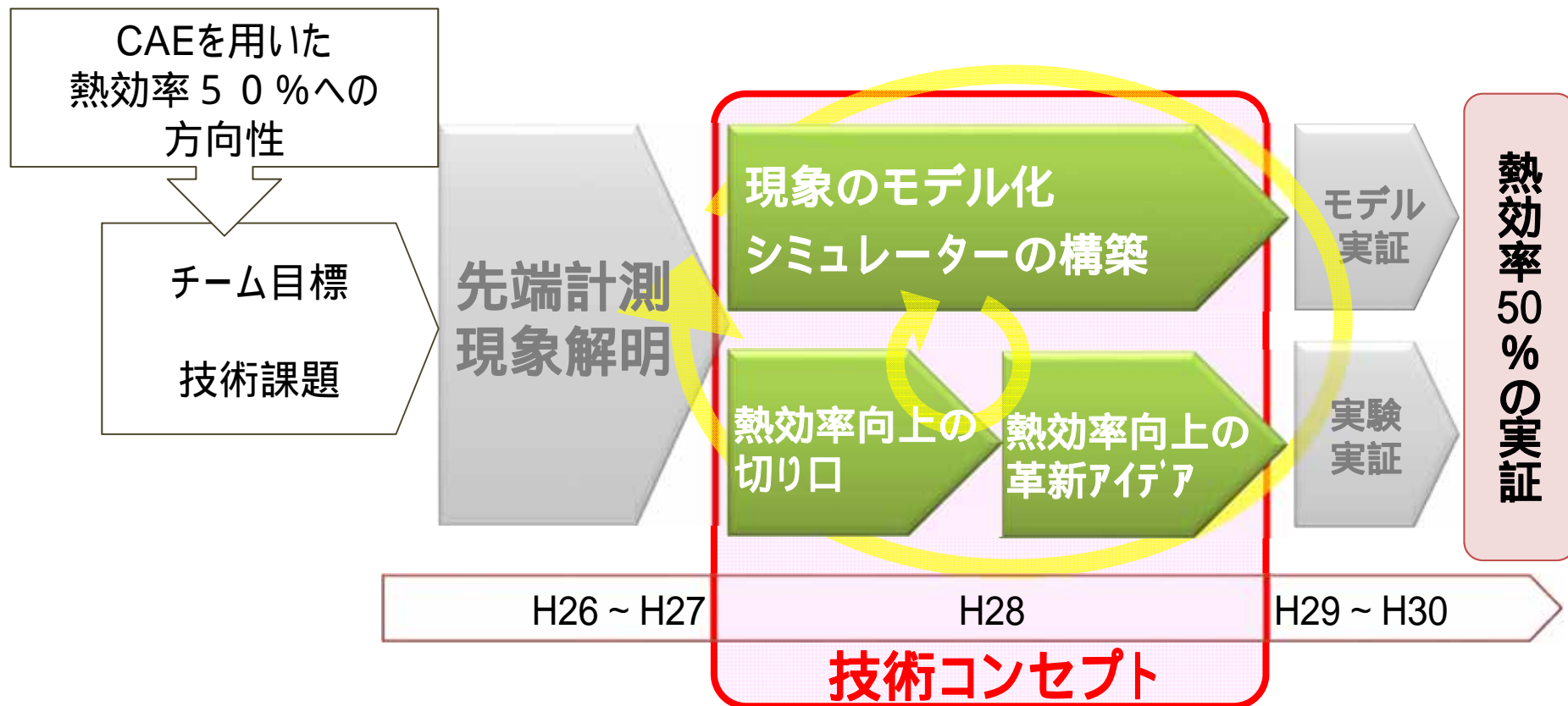
平成28年度の 実施方針について

平成28年7月20日
内閣府 SIP「革新的燃焼技術」事務局

今後3年間の研究開発計画概要と今年度の取り組み



今年度の研究開発計画概要：熱効率50%の技術コンセプト構築



現状成果に新たな革新的アイデアを積み上げ、
熱効率50%の実現性を明らかに

評価結果とガバニングボードによる指摘・対策

- 平成 27 年の年度末評価結果はB+
- 年度末評価時の、ガバニングボードによる指摘事項への対応策を説明し、この内容に沿って研究開発計画書を更新（ 参考資料 1 ）

主な指摘事項

GBの主な指摘事項	対策
SIP終了後、国内事業者が国内拠点（オープンラボ等）に研究委託する方策を検討すべき。また、競争力強化のためには、産産、学学の連携の一層の強化が必要。	オープンラボの自立的運用に向けた、課題抽出および対策検討を行う分科会を立ち上げる予定 議題 4
環境技術、計測技術等の共通基盤技術については、協調領域として共同で取り組むべき	
日の丸ソフトウェアの出口戦略を明確にすることが重要である。ソフトウェアのアップデートや管理・運用の仕方、事業化へ結びつけるための検討も必要。	C A E における出口戦略の検討会にて議論を重ね、今夏に具体策を明示 議題 3 , 5
Society5.0に向けた、AI・ビッグデータ処理等の課題について	

- 評価結果を受け、19億円の予算配分について C S T I 本会議にて承認